大阪の再生・成長に向けた新戦略（案）（ウィズコロナからポストコロナへ）【概要版】

１．戦略の策定趣旨

●コロナ禍による様々な影響を踏まえ、経済や府民生活へのダメージを最小限に抑えるために緊急的に取り組むべきもの、さらには、コロナ終息を見据え、大阪の再生・成長に向けて取り組むべき方向性を明らかにする、新たな戦略を大阪府・大阪市において策定。

・この戦略により、大阪の再生を確たるものとし、さらなる成長につなげるとともに、その取組みの成果を、2025年の大阪・関西万博の成功、ＳＤＧｓの達成へとつなげていく。

・そして、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、府市一体のもと、世界に存在感を発揮する「副首都・大阪」を確立・発展させていく。

２．新型コロナの感染拡大の影響と新たな潮流（主なもの）

経済や社会・くらし、東京一極集中リスクの観点から、コロナがもたらした影響や新たな潮流を分析

（表の説明）

区分

１経済（産業・雇用）

主な影響

◇実質成長率の大幅な低下予測

◇インバウンド需要の消失、宿泊、飲食業等を中心とした国内消費の減少

◇雇用環境の悪化　など

新たな潮流

◆ＥＣの拡大など消費行動の変化

◆テレワークなど働き方の変化

◆ポストコロナを見据えた成長産業

◆国際金融体制・市場の変化　など

２社会・くらし

主な影響

◇所得の低下

◇社会的つながりの喪失や児童虐待、自殺者の増加等の懸念

◇長期間の休校　など

新たな潮流

◆社会全体のデジタル化の加速

◆新しい生活スタイルや意識の変化

◆健康意識の高まり

◆国際的なグリーンリカバリーの議論　など

３東京一極集中リスク

主な影響

◇東京一極集中のリスクが顕在化

新たな潮流

◆東京一極集中リスクの是正議論の活発化

◆東京から人口流出

３．取組みの方向性

〇ウィズコロナでは、感染防止対策を講じつつ、経済の落ち込み、府民生活への影響を最小限に抑える。

〇大阪の再生・成長を図るため、ポストコロナに向けて５つの重点分野を中心とした経済成長面からの取組みに加え、くらし、安全・安心の取組みを推進。

（図の説明）

新型コロナウイルスの感染拡大後、大阪経済・府民生活への影響やコロナがもたらした新たな潮流を踏まえ、ウィズコロナからポストコロナに向けた取組みを推進

ウィズコロナにおける緊急対策

○感染防止対策〜感染症から府民のいのちと健康を守る〜

○経済（産業・雇用）〜大阪経済を支え、雇用を守る〜

○くらし・セーフティネット〜府民の暮らしと子どもたちの学びを支える〜

感染防止対策・経済（産業・雇用）・くらし・セーフティネットの取組みを一体的に推進

ポストコロナに向けて、コロナ後の世界的ビッグイベントとなる万博をインパクトに取組みを加速

ポストコロナに向けた再生・成長

【経済】５つの重点分野から取組みを推進し、さらなる成長へ

１健康・医療関連産業のリーディング産業化

２国内外の観光需要の取り込みの強化

３スタートアップ、イノベーションの創出

４新たな働き方等を通じた多様な人材の活躍促進

５国際金融都市の実現に向けた挑戦

成長を支える都市インフラの整備

【くらし】働きやすく住みやすい、健康で快適な質の高いくらしの実現

【安全・安心】経済とくらしを支える安全・安心な基盤整備

世界の課題解決に貢献し、誰もが輝く活力ある大阪の実現

大阪・関西万博の成功

日本の成長を牽引する東西二極の一極となる「副首都・大阪」を確立・発展

４．戦略の目標

〇大阪の再生・成長に向けて、目標となる指標を設定。目標年は2025年（一部除く）

実質成長率

・2022年度に府内総生産（実質）をコロナ前の水準に戻す

・それを踏まえ、年平均２%以上

内外からの誘客

・「大阪都市魅力創造戦略2025」の 策定をもって、設定

スタートアップ創出数

・300社創出（うち大学発100社） （2024年）

雇用創出数

・2022年度にコロナ前の水準に戻す。2022年度以降、年平均２万人以上

府内への転入超過数

・生産年齢人口の転入超過数　年１万人以上

５．今後のスケジュール

・今後、パブリックコメント等を経て、年内を目途に成案化する予定。

・来年以降、戦略に基づき具体的取組みを推進。